

茨歯発第 178 号  
平成30年 6月15日

茨城県歯科衛生士会長 様

公益社団法人 茨城県歯科医師会  
会 長 森永 和男

「禁煙支援研修会」の開催について

歯科口腔保健事業の推進につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、下記のとおり標記の研修会を開催しますので、ご案内いたします。

講師は、東京都医師会タバコ対策委員会委員長で、呼吸器内科医の村松弘康先生です。村松先生は、臨床医として、タバコにより人生を奪われた多くの患者さんやご家族の悲しみに接してきた経験から、タバコの害の啓発や禁煙指導に力を入れておられます。今回は、受動喫煙対策や加熱式タバコの問題など最新のタバコ事情についてご講演いただきます。

どなたでもご参加いただけますので、ご周知のうえ、貴会関係者の出席について、特段のご配慮をいただきたくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成30年8月23日(木) 18時30分～20時30分
- 2 場 所 茨城県歯科医師会館 3階 講堂  
水戸市見和2丁目292-1 TEL 029(252)2561
- 3 内 容 演題「受動喫煙に関する正しい知識～加熱式タバコの問題点」別添要旨参照  
東京都医師会タバコ対策委員会 委員長 村松 弘康 先生
- 4 受講料 無料
- 5 申込み 別紙申込書にて、8月11日までに、FAXを送信してください。

別紙

茨城県歯科医師会 事務局 行

FAX番号：029-253-1075

## 「禁煙支援研修会」

(8月23日(木) 茨城県歯科医師会館 ) 参加申込書

所属 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部署	職種	備考

## 茨城県歯科医師会『禁煙支援研修会』講演要旨

### 受動喫煙に関する正しい知識 ～加熱式タバコの問題点～

東京都医師会タバコ対策委員会 委員長  
中央内科クリニック院長 村松 弘康

平成 28 年 9 月 2 日に厚生労働省「喫煙の健康影響に関する検討会」の報告書（通称タバコ白書）が 15 年ぶりに改訂され公開されましたが、国内外の論文 1600 件ほどが解析された結果、全身 10 ヶ所のがんを含む 22 種類の病気や病態と、喫煙との因果関係が「確実」とされました。また、ニコチンの血管収縮作用により歯肉の血流障害が生じることなどから、「歯周病」と喫煙との因果関係も「確実」とされました。さらに、受動喫煙についても 6 つの病気・病態との因果関係が「確実」とされ、その中には「小児喘息」や「乳幼児突然死症候群 (SIDS)」も含まれています。

喫煙者のみならず、受動喫煙により周囲の子供たちまでが、様々な疾患の犠牲となっていることや、医療経済への負担を増すことなどを考えると、医療従事者として確固たるタバコ規制が必要であることを再認識させられます。

禁煙支援は、喫煙者だけでなく受動喫煙による他者の健康被害を防止するという意味でも、極めて重要な意味を持っており、国民の命と健康を守る重責を担っていると言えるでしょう。

東京オリンピック・パラリンピックが、2020 年に開催されることになったことを受けて、国際オリンピック委員会 (IOC) と世界保健機関 (WHO) の協定に基づき、国も東京も受動喫煙を防止するための法整備を進めているところであり、今後あらゆる方面から受動喫煙防止対策や禁煙支援について意見を求められる機会も増えてくることが予測されます。講演では、禁煙支援に際して配慮すべき点について、皆様とともに検討して行く予定です。

また、最近話題となっている電子タバコや加熱式タバコについては、販売元の広告用データからは、あたかも有害性が少なく受動喫煙もないような誤解が生じてしまっているようです。しかし、第三者機関から出されている研究報告によれば、これらの新型タバコも有害であり、受動喫煙が生じることも明らかとなっています。講演では、電子タバコや加熱式タバコといった新型タバコについても最新の知見を交えながら、その問題点について言及いたします。